

作業用

巻付け耐火被覆材 標準施工仕様一覧表

はり(単体構造)

標準施工仕様一覧表は、ニテアス鋼が取得した耐火認定を基に作成したもので、「マキベエ®」と「ロックカバー®」に適用するものです。

耐火時間	被覆厚さ (mm)	鉄骨寸法 (mm)	上フランジ		認定番号
			接地長さ (mm)	留付本数	
1	20	H-150 × 100 × 3.2 × 6	40	5本	FP060BM-0047
	40	制限なし	40	5本	FP060BM-9341
2	40	H-400 × 200 × 8 × 13	40	5本	FP120BM-0294
	65	H-148 × 100 × 6 × 9	65	5本	FP120BM-0253
3	65	H-294 × 200 × 8 × 12	65	5本	FP180BM-0255

● 補助ピン※：被覆厚さが20、40mmは、はり高さが900mm以上の場合に、被覆厚さが65mmは、はり高さが600mm以上の場合に留付本数3本（補強目的の認定上必要なピンです。）

耐火時間	被覆厚さ (mm)	鉄骨寸法 (mm)	上フランジ		下フランジ留付本数	認定番号
			接地長さ (mm)	留付本数		
2	80 (40+40)	H-248 × 124 × 5 × 8	上貼 40	上貼 5本 下貼 3本	3本	FP120BM-0220
3	105 (40+65)	H-148 × 100 × 6 × 9	上貼 30	上貼 5本 下貼 3本	—	FP180BM-0327

● 上張ピン ○ 下張ピン

耐火時間	被覆厚さ (mm)	鉄骨寸法 (mm)	上フランジ		下フランジ留付本数	ウェブ留付本数	認定番号
			接地長さ (mm)	留付本数			
1	20	H-400 × 200 × 8 × 13	40	5本	—	3本	FP060BM-0159
2	65	H-400 × 200 × 8 × 13	40	5本	4本	3本	FP120BM-0254

(耐風仕様は別途記載)

耐火時間	被覆厚さ (mm)	鉄骨寸法 (mm)	上フランジ		ウェブ留付本数	認定番号
			接地長さ (mm)	留付本数		
1	40	制限なし	40	5本	3本	FP060BM-9341

共通適用事項

・鉄骨寸法:記載寸法以上 ・床面への接地長さ:記載寸法以上

注)この標準施工仕様一覧表は、耐火時間ごとに適用する耐火認定番号、鉄骨寸法、被覆厚さ、一般的な固定ピン、補助ピンのピッチおよび鉄骨と壁との間隔等を表したものです。施工品質をより高めるために耐火認定に比べ、固定ピンの本数を一部増やした仕様になっています。

※被覆厚さ20、25(高密度)、40、80mmの場合:巻付け方向の留め付け間隔が2,440mmを超える場合は、認定上補助ピンが必要です。はり高さ900mm以上が目安となります。
被覆厚さ65、105mmの場合:巻付け方向の留め付け間隔が1,650mmを超える場合は、認定上補助ピンが必要です。はり高さ600mm以上が目安となります。

巻付け耐火被覆材 標準施工仕様一覧表

はり(高密度単体構造)

標準施工仕様一覧表は、ニテラス㈱が取得した耐火認定を基に作成したもので、「マキベエ®」と「ロックカバー®」に適用するものです。

単体箱貼り

● 補助ピン※：はり高さが900mm以上の場合に、留付本数3本
(補強目的の認定上必要なピンです。)

耐火時間	被覆厚さ (mm)	鉄骨寸法* (mm)	上フランジ		認定番号
			接地長さ (mm)	留付本数	
2	高密度 25	H-300×200×12×22 かつ断面形状係数 ≤ 76.5	40	5本	FP120BM-0481
* 上記鉄骨寸法以下かつ断面形状係数が76.5m ⁻¹ 以下の鉄骨に使用できます。					
<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="margin-left: 10px;"> <p>(参考) 鉄骨の断面形状係数の計算方法 断面形状係数 (m⁻¹) : (2H+B) / A A : 鉄骨断面積 (m²) A = H×B - (H-2×t₂)×(B-t₁) H : 鉄骨高さ (m) B : 鉄骨幅 (m) t₁ : 鉄骨ウェブ厚さ (m) t₂ : 鉄骨フランジ厚さ (m)</p> </div> </div>					
2	高密度 40	H-350×175×7×11	40	5本	FP120BM-0634

単体箱貼り (3面貼り)

耐火時間	被覆厚さ (mm)	鉄骨寸法 (mm)	上フランジ		下フランジ		認定番号	
			接地長さ (mm)	留付本数	留付本数			
					木口	下端		
3	高密度 40	H-588×300×12×20	40	5本	3本	3本	FP180BM-0021	

共通適用事項

- ・鉄骨寸法: 記載寸法以上
- ・床面への接地長さ: 記載寸法以上

注)この標準施工仕様一覧表は、耐火時間ごとに適用する耐火認定番号、鉄骨寸法、被覆厚さ、一般的な固定ピン、補助ピンのピッチおよび鉄骨と壁との間隔等を表したものです。

施工品質をより高めるために耐火認定に比べ、固定ピンの本数を一部増やした仕様になっています。

※被覆厚さ20、25(高密度)、40mmの場合:巻付け方向の留め付け間隔が2,440mmを超える場合は、認定上補助ピンが必要です。はり高さ900mm以上が目安となります。

被覆厚さ65mmの場合:巻付け方向の留め付け間隔が1,650mmを超える場合は、認定上補助ピンが必要です。はり高さ600mm以上が目安となります。

巻付け耐火被覆材 標準施工仕様一覧表

はり (ALC合成構造)

標準施工仕様一覧表は、ニテアス鋼が取得した耐火認定を基に作成したもので、「マキベエ」と「ロックカバー」に適用するものです。

ALC合成箱貼り

● 補助ピン※: 被覆厚さが20、40mmは、はり高さが900mm以上の場合に、被覆厚さが65mmは、はり高さが600mm以上の場合に留付本数3本

耐火時間	被覆厚さ (mm)	鉄骨寸法 (mm)	上フランジ		下フランジ	壁への留付		鉄骨と壁との距離 (mm)	壁厚さ (mm)	認定番号
			接地長さ (mm)	留付本数	留付本数	折返し (mm)	留付本数			
1	20	H-400×200×8×13	40	5本	—	50	4本	500	50	FP060BM-0004
		H-150×100×3.2×6	40	5本	—	50	4本	500	63	FP060BM-0049
	40	制限なし	50	5本	3本	80	5本	150	75	FP060BM-9343
2	40	H-400×200×8×13	40	5本	—	50	4本	*150	75	FP120BM-0058
	65	H-250×125×6×9	65	5本	—	50	4本	250	75	FP120BM-0212
3	65	H-294×200×8×12	65	5本	3本	50	4本	350	100	FP180BM-0320

ALC合成直貼り

(耐風仕様は別途記載)

耐火時間	被覆厚さ (mm)	鉄骨寸法 (mm)	上フランジ		ウェブ	下フランジ	壁への留付		鉄骨と壁との距離 (mm)	壁厚さ (mm)	認定番号
			接地長さ (mm)	留付本数	留付本数	留付本数	折返し (mm)	留付本数			
1	20	H-400×200×8×13	40	5本	3本	3本	50	4本	450	75	FP060BM-0196
2	40	H-400×200×8×13	40	5本	3本	—	50	4本	*150	75	FP120BM-0182

ALC合成8の字貼り

耐火時間	被覆厚さ (mm)	鉄骨寸法 (mm)	上フランジ		下フランジ	ウェブ	壁への留付		鉄骨と壁との距離 (mm)	壁厚さ (mm)	認定番号
			接地長さ (mm)	留付本数	留付本数	留付本数	折返し (mm)	留付本数			
1	40	制限なし	40	5本	4本	3本	80	5本	150	75	FP060BM-9343

共通適用事項

・鉄骨寸法: 記載寸法以上 ・床面への接地長さおよび壁面への折返し長さ: 記載寸法以上 ・鉄骨と壁との距離: 記載寸法以下 (*認定書に範囲記載なし) ・壁厚さ: 記載寸法以上

注) この標準施工仕様一覧表は、耐火時間ごとに適用する耐火認定番、鉄骨寸法、被覆厚さ、一般的な固定ピン、補助ピンのピッチおよび鉄骨と壁との間隔等を表したものです。

施工品質をより高めるために耐火認定に比べ、固定ピンの本数を一部増やした仕様になっています。

※被覆厚さが20、25(高密度)、40mmの場合: 巻付け方向の留め付け間隔が2,440mmを超える場合は、認定上補助ピンが必要です。はり高さ900mm以上が目安となります。

被覆厚さが65mmの場合: 巻付け方向の留め付け間隔が1,650mmを超える場合は、認定上補助ピンが必要です。はり高さ600mm以上が目安となります。

EOP、サンドイッチパネル等の合成認定は外壁メーカーの認定仕様にしたがって施工してください。

作業用

巻付け耐火被覆材 標準施工仕様一覧表

はり(PC合成構造)

標準施工仕様一覧表は、ニチアス㈱が取得した耐火認定を基に作成したもので、「マキベエ」と「ロックカバー」に適用するものです。

PC合成箱貼り

● 補助ピン※: 被覆厚さが20、40mmは、はり高さが900mm以上の場合に、
被覆厚さが65mmは、はり高さが600mm以上の場合に留付本数3本
(補強目的の認定上必要なピンです。)

耐火時間	被覆厚さ(mm)	鉄骨寸法(mm)	上フランジ		下フランジ留付本数	壁への留付		鉄骨と壁との距離(mm)	壁厚さ(mm)	認定番号
			接地長さ(mm)	留付本数		折返し(mm)	留付本数			
1	20	H-400×200×8×13	40	5本	—	50	4本	500	100	FP060BM-0124
2	40	H-400×200×8×13	40	5本	—	50	4本	500	100	FP120BM-0062
	65	H-250×125×6×9	65	5本	—	50	4本	250	75	FP120BM-0212
3	65	H-294×200×8×12	65	5本	3本	50	4本	350	100	FP180BM-0320

PC合成直貼り (耐風仕様は別途記載)

耐火時間	被覆厚さ(mm)	鉄骨寸法(mm)	上フランジ留付		ウェブ留付本数	下フランジ留付本数	壁への留付		鉄骨と壁との距離(mm)	壁厚さ(mm)	認定番号
			接地長さ(mm)	留付本数			折返し(mm)	留付本数			
1	20	H-400×200×8×13	40	5本	3本	3本	50	4本	450	75	FP060BM-0196
2	40	H-400×200×8×13	40	5本	3本	—	50	4本	*150	75	FP120BM-0182

共通適用事項
 ・鉄骨寸法: 記載寸法以上
 ・床面への接地長さおよび壁面への折返し長さ: 記載寸法以上
 ・鉄骨と壁との距離: 記載寸法以下(*認定書に範囲記載なし)
 ・壁厚さ: 記載寸法以上

注)この標準施工仕様一覧表は、耐火時間ごとに適用する耐火認定番号、鉄骨寸法、被覆厚さ、一般的な固定ピン、補助ピンのピッチおよび鉄骨と壁との間隔等を表したものです。

施工品質をより高めるために耐火認定に比べ、固定ピンの本数を一部増やした仕様になっています。

※被覆厚さが20、25(高密度)、40mmの場合:巻付け方向の留め付け間隔が2,440mmを超える場合は、認定上補助ピンが必要です。はり高さ900mm以上が目安となります。

被覆厚さが65mmの場合:巻付け方向の留め付け間隔が1,650mmを超える場合は、認定上補助ピンが必要です。はり高さ600mm以上が目安となります。

EGP、サンドイッチパネル等の合成認定は外壁メーカーの認定仕様にしたがって施工してください。